

滋賀県がん診療連携協議会・第3回相談支援部会

日時：平成30年2月22日（木）17：30～19：00

場所：滋賀県立総合病院 新館4階講堂

(敬称職名略)

【部会長】滋賀県立総合病院 山内

【副部会長】大津赤十字病院 塘、市立長浜病院 伏木

【部会員】滋賀医科大学附属病院 木村、

大津赤十字病院 がん相談支援センター 山本、

滋賀県立総合病院 がん相談支援センター 岡村、

公立甲賀病院 がん相談支援部 柴田、彦根市立病院 がん相談支援センター 乾、

市立長浜病院 がん相談支援センター 橋本、高島市民病院 地域医療連携室 大塚、

大津市民病院 地域医療連携室 山澤、草津総合病院 吉村、

済生会滋賀県病院 がん診療支援センター 山田、

近江八幡市立総合医療センター 患者総合支援課 嶋田、

長浜赤十字病院 がん診療支援室 寺村、東近江総合医療センター 長岡、

滋賀県歯科医師会 柴田、滋賀県薬剤師会 渡邊、

滋賀県看護協会 梅本、滋賀県歯科衛生士会 長谷川、

滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井、滋賀県がん患者団体連絡協議会 須藤、

滋賀県健康医療福祉部 大井、成人病センター 嶋田、

【事務局】滋賀県立総合病院 地域医療連携室 今西

【欠席部会員】滋賀県医師会 重永

【オブザーバー】滋賀がん・生殖医療ネットワーク 滋賀医科大学 木村、

滋賀がん・生殖医療ネットワーク 滋賀医科大学 河合、

梅花女子大学 看護保健学部 原田、NPO法人 淡海かいつぶりセンター長 宮本、

滋賀県立総合病院 緩和ケアセンター 吉田、

滋賀県立総合病院 地域医療連携室 山脇

1. 部会長あいさつ

(山内部会長)

2. 審議事項

(1) 平成29年度相談支援部会の取り組み評価(最終評価)について

(事務局)

- ・平成29年度実施計画に基づき実績・取り組み内容を報告。ほぼ計画どおりで目標を達成したことで「A」の評価をさせていただき、部会員の承認をいただいた。
- ・次年度の年次計画については、計画を整理する現在の様式が平成29年度で終了となっている。そのため、平成30年度以降の様式については今後の企画運営委員会やがん診療連携協議会で諮ってから

決定される予定であるため平成 30 年度の計画は次年度開催の部会で議論させていただくことになる。

3. 報告事項

(1) PDCAサイクルについて

平成 29 年度がん相談後アンケート集計表(4 月～12 月)

(事務局)

- ・今回は平成 29 年 4 月から 12 月分までが対象。対象施設 13 施設中 10 施設より回答があり、232 件のアンケート集計を行った。結果としては、相談の半数が患者ご自身であり、初めて利用される人が 89%。内容では役に立ったという声が 96%で、ほとんどの方に役に立っているということであった。相談後の変化についてはマイナスが少なく、相談した結果、気持ちの変化がプラスになっていると推察できる。今後も続けて集計していきたい。

(2) がん相談支援センター等の相談員の資質向上について

・がん相談支援センター相談員スキルアップ研修会の開催(平成 29 年 10 月 13 日開催)

～自殺危機への初期介入スキルを学ぶ～

(県立総合病院)

- ・自殺危機への初期介入スキルを学ぶという形で研修会を実施。講師は精神保健医療センターと済生会滋賀県病院の医師等にお越しいただいて、講義とアクションという形で研修会を実施した。参加人数は 15 名。アンケートでは、「概ね理解できた」という方が多く、「自殺危機への初期介入について学習する機会が得られた」等の回答があった。
- ・相談員に対しての研修は実施したものの、相談員だけで自殺危機への介入スキルを学ぶというのでは不十分、今後は拠点病院として取り組んでいく必要があるかと考える。まずは相談員を対象に実施したが、次年度以降、病院の中でこういった講演会・研修会が開催できたら良いと感じている。

・がん相談支援センター相談員スキルアップ研修会の開催(平成 29 年 12 月 8 日開催)

～高齢がん患者への相談支援～

(県立総合病院)

- ・市立大津市民病院がん専門看護師と県立総合病院(当時は県立成人病センター)リハビリテーション科医師の講演およびグループワークという内容で開催を行った。参加者は 13 名でそのほとんどがソーシャルワーカーであった。「よく理解できた」、「概ね理解できた」との回答が 11 名。今年度内もしくは次年度早々に意思決定ガイドラインで新しいバージョンのものが取りまとめられるということであり、それを使いながら意志決定支援の取組をがん相談の中でも行っていくこととなった。

(3) 滋賀県がん患者団体連絡協議会の報告事項

・ピアサポーターとがん患者サロンについて

(がん患者団体連絡協議会)

- ・ピアサポーターとがん患者サロンについて報告。現在 9 か所のサロンを運営しているが、30 年 4

月から更に3か所のサロンが増えることとなった。「フレンドミーティングアヤ (Friend Meeting AYA)」はAYA世代の患者を対象に大津赤十字病院で4月から第1土曜日に開催予定。「なごみ」に関しては市立大津市民病院で第3火曜日に開催予定。そして「こころ」は再発転移ステージⅣの患者とご家族が対象のサロンであり、県立総合病院で第4水曜日に開催を予定している。

- ・3か所のサロンが増えたことで、今まで9か所のサロンで活動していたピアサポーターに、今回7期の方9名が加わることとなった。サロンごとのピアサポーターの数を合計すると88名であるが、兼ねていただいている方もいることから実質は79名で活動している。

(4) 県の報告事項

・アピアランス支援研修会・がん患者家計プラン事業報告会の報告

(県健康医療福祉部)

- ・アピアランスについての知識を深めていただこうと、2月10日(土)にアピアランス支援研修会をがん家計プラン事業報告会と同時に開催した。梅花女子大学と滋賀県の主催で、本相談支援部会も共催として開催し、41名の方に参加いただいた。アンケートでは、「概ね理解できた」、「大変役立つ」というような回答が多かった。
- ・「がんと診断されたとき知っておきたい医療費の話」のリーフレットを現在準備中であり、患者支援の際に活用いただきたい。また、がん患者家計プラン事業報告書についても併せて活用願いたい。

(5) その他

・妊孕性温存事業について

(滋賀がん・生殖医療ネットワーク)

- ・妊孕性温存事業についての説明。
- ・滋賀医科大学においてがん患者の妊孕性温存の情報提供にかかる検討会があり、相談支援部会、診療支援部会からも出席。情報提供のシステムをどのようにするかということを検討するためワーキンググループを設置していくことになった等、これまでの経過および今後の取り組みについて説明。関係者が力を合わせて大きな仕事にしていきたいと考えている。ワーキンググループへの参加等においてもご協力を願いたい。

以上